

千葉県渋滞・安全見える化委員会

3. 新たな対策箇所の考え方

(1) 新たな対策箇所（新プラン）の考え方について	1
(2) 事故見える化プラン	2
(3) 渋滞見える化プラン	3

平成19年6月18日

(1) 新たな対策箇所（新プラン）の考え方について

渋滞見える化プラン策定後から
安全見える化プラン策定後から

社会情勢の変化や対策実施による交通状況の変化、最新データの充実

より

地域特性・道路利用者からの見える課題を**最新データ**により分析し、
真に対策に必要な移動性阻害要対策箇所・事故危険箇所を抽出

STEP1 データによる箇所の抽出

渋滞 プローブデータ・センサスデータによる分析

安全 事故統計データによる分析

STEP2 現地状況による箇所を抽出

特異日データの分析

走りやすさマップの分析

防災危険箇所からの分析

パブリックコメントの分析

地域要望箇所の分析

新 渋滞 見える化プランの策定

新 事故 見える化プランの策定

(2) 事故見える化プラン

「交通戦争」の頃のような危険な状態にある道路(レッドゾーン)が残っています。

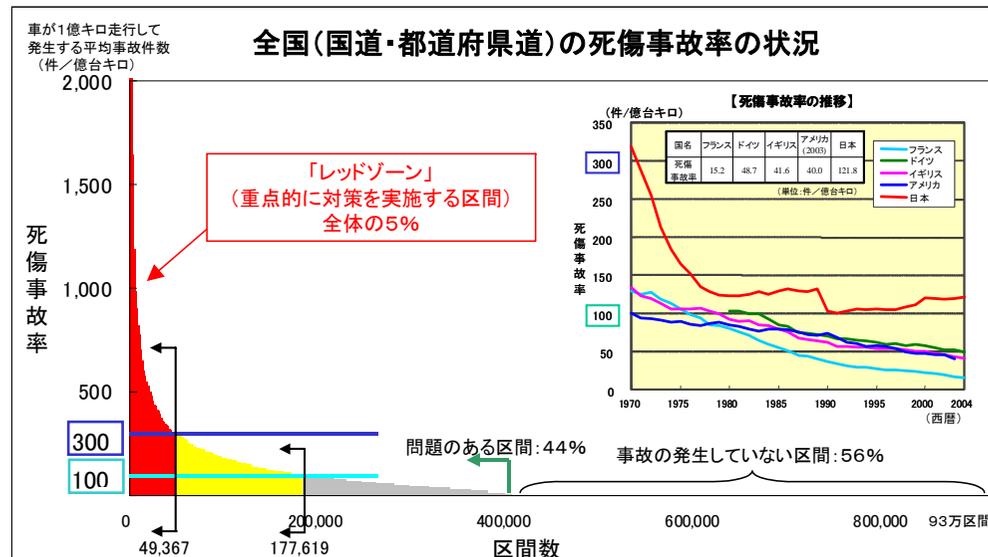
- S45年の交通事故死者数は1万7千人で、「交通戦争」という言葉が使われました。
- その頃、車が1億km走る間に平均で300件の事故が発生していたこととなります。
- 現在は100件まで下がってきましたが、今でも欧米と比較すると高い状況です。
- 交通戦争の頃のように**300件を超える区間(レッドゾーン)**が関東管内の1都8県の国道と都県道にまだ約7%存在します。

レッドゾーン・イエローゾーン以外の区間では、原則として事故対策事業を実施しません。

- わずか**7%**の区間のレッドゾーンに、死傷事故の**30%が集中**しています。
- この区間に集中して対策することが、事故率の低減に直結すると考えました。
- また、**100件を超える区間(イエローゾーン)**も含めた24%の区間に死傷事故の70%が集中しています。

レッドゾーンに集中して対策を実施します。

- 平成19年度は交通事故対策として**19箇所**の事業を展開します。そのうち**12箇所がレッドゾーン**の区間に、**6箇所がイエローゾーン**の区間に該当します。
- これらの厳選された要対策箇所に対して、**集中的な対策**を実施します。
- 平成19年度の交通事故重点対策事業費(約23億円)の内、レッドゾーン区間における対策には、事業費の約76%を充てます。

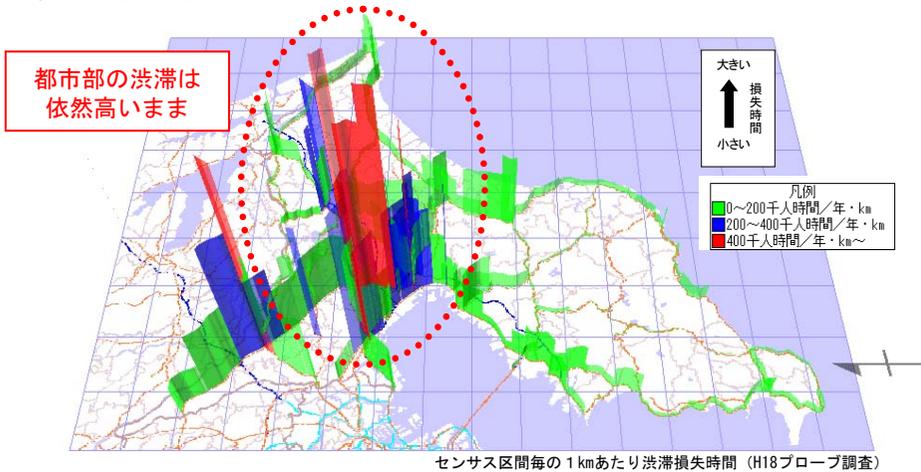


※全国の国道・都道府県道18万kmにおける4年間(H13~H16)の事故データから作成

(3) 渋滞見える化プラン

プローブデータによる分析

千葉県内の直轄国道における渋滞損失時間をみると、都市部に渋滞が集中している。
【湾岸】【東葛飾北部】【印旛】地域の北西部に渋滞が集中し、H18年度でも依然として渋滞が高い状況にある。



センサスデータによる分析

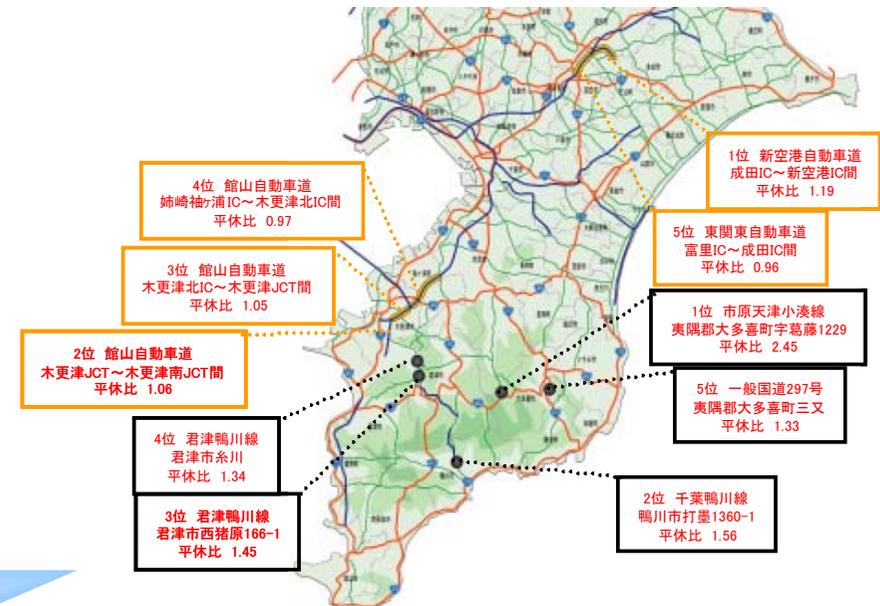
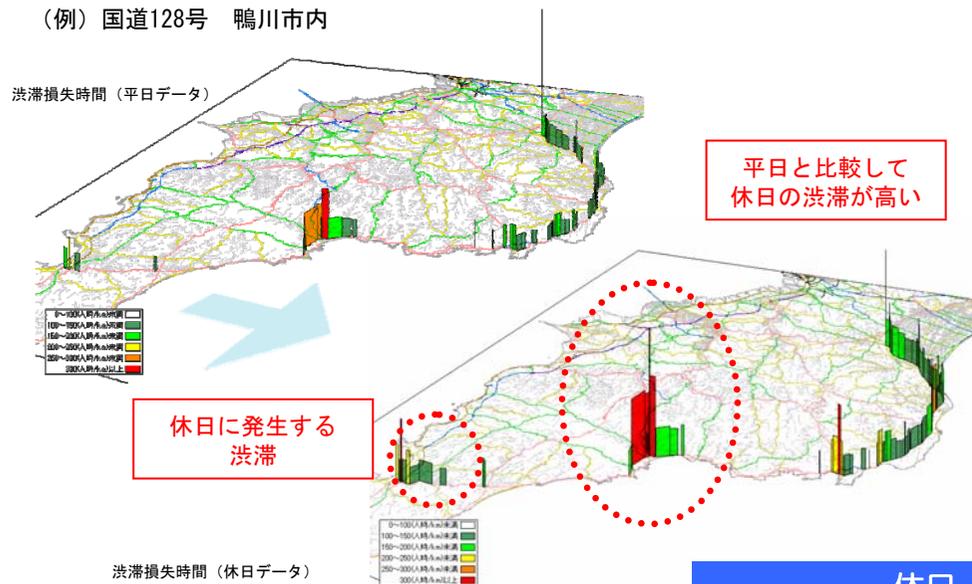
平日の交通量に対する休日の交通量の割合(以下、平休比)が大きな路線は、一般道路では『南房総地区』への観光地や行楽地へ通じる道路が上位に位置している。高速自動車国道および首都高速道路の平休比は、一般道路に比べて低く、平日と休日の区別なく利用されている状況がわかる。

表一屋間12時間交通量休日平日交通量比の上位10地点(一般道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	車線数	路線名	観測値点名
	平日	休日				
1	1,999	4,907	2.45	2	市原天津小湊線	夷隅郡大多喜町字葛藤1229
2	4,469	6,972	1.56	2	千葉鴨川線	鴨川市打墨1360-1
3	6,337	9,176	1.45	2	君津鴨川線	君津市西猪原166-1
4	7,454	10,005	1.34	2	君津鴨川線	君津市糸川
5	5,627	7,471	1.33	2	一般国道297号	夷隅郡大多喜町三叉
6	4,452	5,860	1.32	2	一般国道465号	君津市栗葉倉
7	9,534	12,525	1.31	2	一般国道126号	千葉市若葉区加曾利170
8	13,487	16,883	1.25	2	一般国道127号	君津市小山野632
9	27,660	34,393	1.24	5	一般国道14号	千葉市花見川区幕張1丁目7782
10	29,420	36,483	1.24	4	一般国道357号	船橋市栄町1丁目11(西浦1丁目)

注) 1. 休日交通量が3,000台/12h以上を対象
2. 一般国道の一般有料道路は除く

(例) 国道128号 鴨川市内



休日・特異日の渋滞箇所

(3) 渋滞見える化プラン

走りやすさマップの分析

走りやすさマップから走りやすさランクD区間などを対象に対策の必要な箇所を抽出。



防災危険箇所の分析

道路の脆弱性に起因した道路防災危険箇所などの走りにくい箇所や危険な箇所を抽出。



十七日夜には一旦復旧
随時片側通行等で全面復旧
大雨による崩落事故
国道128号線小湊・内浦地先

十三日から降り続いた大雨による被害が各地で出たが、この天津小湊町内浦地先(鴨川消防署天津小湊分署近)の国道128号線でも崩落事故があり一時全面ストップした後片側通行となっていたが、十七日午後七時過ぎに一旦復旧したが、今後随時片側通行などをし全面復旧をめざす。全面復旧の時期は今のところ見通しは立っていない。

崩落事故があったのは十五日の午後七時、内浦32211番地先で、内浦山が延長20mにわたり約200立方メートルの土砂が崩落し道をふさいだ。このため、鴨川土木事務所

十七日夜には一旦復旧
 随時片側通行等で全面復旧
 大雨による崩落事故
 国道128号線小湊・内浦地先

務所で土砂を取り除く一作業をし、三時間余あとに片側通行まで復旧させた。引き続き作業をし十七日午後七時には全面復旧した。写真は崩落現場

また、天津小湊町小湊の妙の浦遊歩道(延長800m)も七ヶ所、町では長雨による地盤のゆるみなどで新たに崩落事故が起きる危険もあるとして当分の間通行禁止の措置をとった。

崩落したのは十六日の夜と見られている。遊歩道の終点先、崖でも幅30m、高さ100mにわたる大規模な崩落も発生している。

『土砂崩落、妙の浦遊歩道は通行禁止』

H15.8.20 外房新聞

現地状況による走りにくい箇所